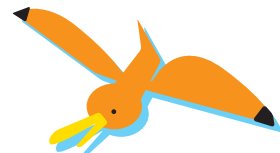


誰もが楽しめる



観光地を目指して

伊勢志摩 **バリアフリー ツアーセンター**
の取り組みから



日本初のバリアフリー観光案内システムを行う「NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター」。設立から7年目を迎え、着実に利用者を増やし成果を上げています。

今年3月には、その活動が評価され、「国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰」を受賞しました。

今回、同センターの取り組みを紹介することで、旅行者だけでなく、もてなす側のみなさんにもやさしい観光地「鳥羽」を考えるきっかけにしたいだけだと考えています。



気軽にお尋ねください

ところ 鳥羽一丁目2383-13 (鳥羽一番街1階)
☎ 0550 (電話受付は午後5時まで)
URL <http://www.barifuri.com>
開局時間 午前9時～午後5時30分・木曜定休
(季節により変動あり)



今回の受賞は、同センターの取り組みが、バリアフリーの普及、啓発に多大な貢献をしていると認められたもので、3月10日、国土交通省で授与式と受賞者の事例報告が行われました。

事務局長の野口あゆみさんは、「自分たちの力だけでなく、旅館やホテルなどの事業所や地元のみなさんの協力があつてこそこの受賞だと思いません。事業所や地元のみなさんに協力してもらい、認めてもらえるからこそ、わたしたちも頑張れるんです」と、話してくれました。

さまざまな 取り組みを 紹介します

伊勢志摩バリアフリーツアーセンターは、障がいや高齢で自由がきかなくなってきたけれど、「旅行に行きたい!」と考えるみなさんに、伊勢、鳥羽、志摩の旅のバリアフリー情報を紹介する観光案内センターです。



スタッフが現場へ行き、バリアの状況を細かくチェックします

「したい」旅行の お手伝いをします

同センターでは、観光施設や宿泊施設、交通機関などのバリア（障壁）の状況を、障がいをもったスタッフが実際に施設を訪ね、利用者の立場



何度も何度も話し合いを重ねていきます

で細かく調査し、さまざまな角度から丁寧に情報発信しています。

事前に旅先の確かな状況が分かるので、利用者自身が判断し、自分に合った旅支度をすることができます。

また、情報発信だけでなく、宿泊施設の予約代行や車いすタクシーの手配のほか、一人ひとりの状態に合わせた旅行の相談やアドバイスも行っており、「行けるところより行きたいところへ」旅行ができるよう、お手伝いしてくれます。

ユニバーサルルーム 建築プロジェクト

市内宿泊施設と協働で、ユニバーサル（誰でも利用できる）デザインの客室作りを行っています。

誰もが本当に使いやすい部屋にするために、何度も何度も検討会を開き、設計士や建築業者と一緒にって意見交



疑似体験では、相手の立場に立つことの大切さを学びます

換をします。

講演や視察の受け入れ、 学校で授業も行っています

同センターには、さまざまな講演や視察の依頼があります。それらの活動以外にも、鳥羽高校で3年生の生徒を対象に「観光とバリアフリー」という授業もしています。

授業では、高齢者や妊婦の疑似体験をしたり、観光施設などに出向き、実際に車いすに乗って施設内を回るなど、体験を通じて、相手の立場に立つことの大切さなど、福祉のあり方について学びます。中には、観光業に就職を希望している生徒もおり、未来の観光を担う若い力の育成も行っています。

ゴールデンウィーク中に 「駅ボラ」を行いました

市の「鳥羽市観光基本計画」の助走プロジェクト事業の一



観光案内のほか、車いすの貸し出しなども行いました

環として、ゴールデンウィーク中に、観光の玄関口である鳥羽駅を利用するかたへの観光案内や、車いすやベビーカーの無料貸し出しなど、駅でお困りのかたのお手伝いを「駅ボラ」を行いました。3日間で、市内外の高校生から66歳までの、延べ44人のかたがたが参加してくれました。

市外の友人4人を誘って参加した、小浜町の濱口真凜さん（高校3年生）は、「いろんな経験ができて、社会へ出て行くための良い勉強になりました」と話してくれました。駅ボラへの参加で貴重な体験ができたようです。

また、この取り組みを知った他県の自治体から問い合わせがあるなど、駅ボラへの反響は大きいものがありました。次回の駅ボラは、8月13日〜16日に行う予定です。

《利用者の声》

「駅ボラ」のみなさん、 楽しい思い出をありがとうございました

大阪府大阪市

吉田 峰一さん



この写真とお手紙をいただきました

歩く足が痛むというおばあちゃんが「みんなに迷惑を掛けるので行かない」と言い出したのを何とか説得しての家族旅行でしたが、鳥羽駅で思いがけなくボランティアのみなさんが待っていてくださり、とても助かりました。

高齢者でも気軽に旅ができることを肌身で感じましたし、ボランティアのかたたちの真心に触れ合うことができ、最高でした。おばあちゃんも孫ぐらいの若い人たちと交流でき、旅行の楽しい思い出がいっぱいできたと大変喜んでいました。